

## 5.2 大気質

### 5.2.1 現況調査

#### (1) 調査内容

事業計画地周辺における大気質の現況レベル、経年変化及び環境基準の達成状況を把握するため、既存資料調査を実施した。

また、事業計画地近傍の住居地等の配置の状況を把握するために、既存資料調査及び現地踏査を実施した。

調査の内容は表 5-2-1 に、現況調査地点は図 5-2-1 に示すとおりである。

表 5-2-1 調査内容

調査対象項目	調査対象範囲・地点	調査対象期間	調査方法
大気質の状況 ・窒素酸化物 ・浮遊粒子状物質	事業計画地近傍の大気汚染常時監視測定局 (一般環境大気測定局) ・堀江小学校局	平成 15～19 年度 (5 年間)	既存資料調査 大阪市環境白書 平成 16～19 年版 (平成 16～20 年 大阪市) 平成 19 年度の大気汚染状況 (平成 20 年 大阪市) 大阪市資料
気象の状況 ・風向、風速	事業計画地近傍の大気汚染常時監視測定局 (一般環境大気測定局) ・堀江小学校局	平成 19 年度 (1 年間)	
住居地等の配置の状況	事業計画地近傍	既存資料調査 適宜 現地踏査 平成 20 年 4～5 月	既存資料調査 ・北区建物用途別土地利用現況図 (平成 17 年 大阪市) ・中央区建物用途別土地利用現況図 (平成 17 年 大阪市) 現地踏査

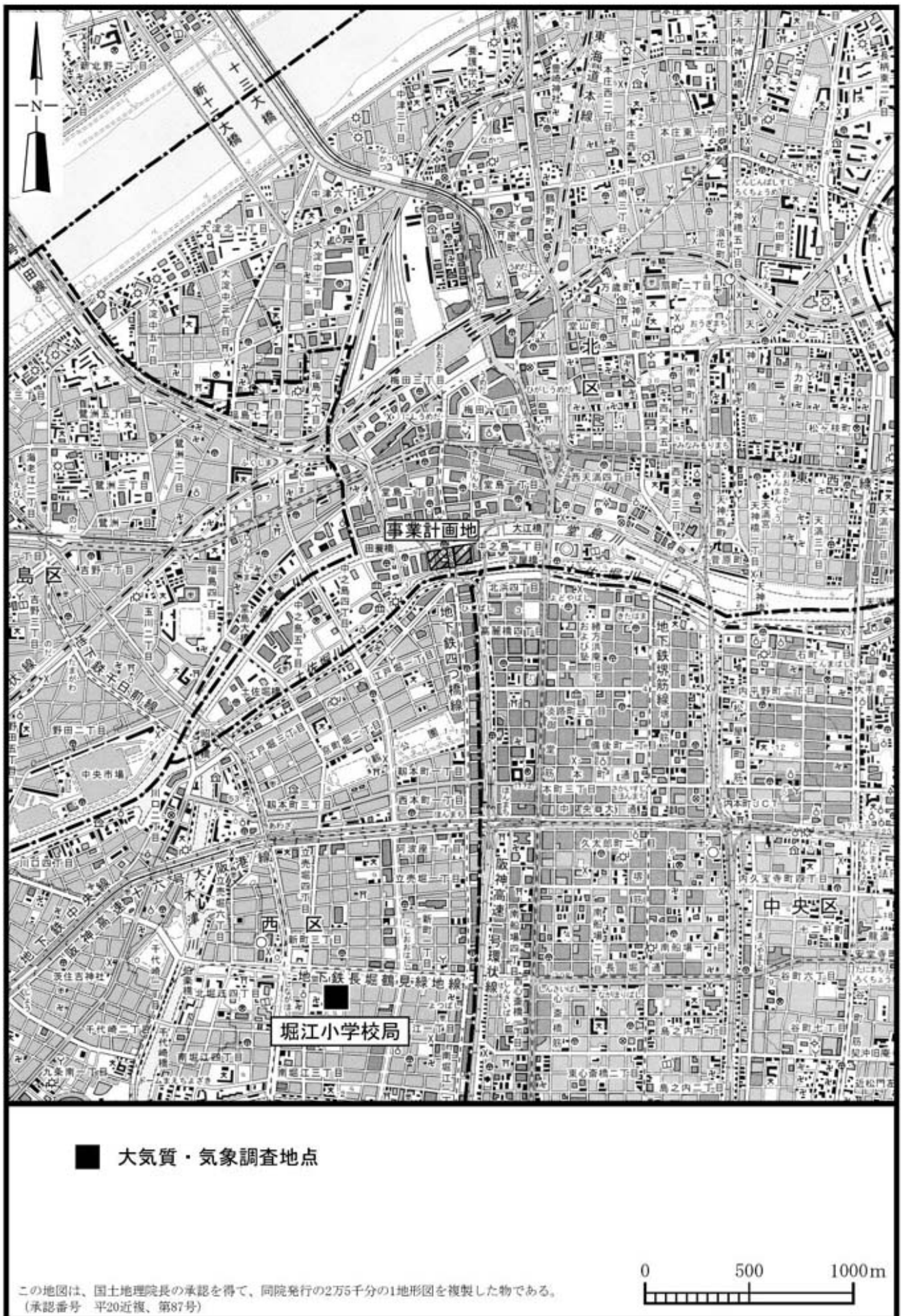


図 5-2-1 現況調査地点の位置

## (2) 調査結果

### 大気質の状況

#### a. 窒素酸化物

堀江小学校局における二酸化窒素濃度の年平均値の経年変化及び平成 19 年度の年間測定結果は、表 5-2-2(1)、(2)に示すとおりである。

平成 15～19 年度の年平均値は 0.025～0.032ppm であり、平成 19 年度の年平均値は 0.025ppm であった。

また、平成 19 年度の日平均値の年間 98% 値は 0.049ppm となっており、環境基準の長期的評価を満足している。

表 5-2-2(1) 二酸化窒素年平均値の経年変化（平成 15～19 年度）

単位：ppm

測定局	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
堀江小学校	0.032	0.029	0.029	0.027	0.025

出典：「大阪市環境白書 平成 19 年版」（平成 20 年 1 月 大阪市）  
「平成 19 年度の大気汚染状況」（平成 20 年 6 月 大阪市）

表 5-2-2(2) 二酸化窒素測定結果（平成 19 年度）

測定局	年平均値	日平均値が 0.06ppm を 超えた日数 とその割合		日平均値 の年間 98% 値	98% 値 評価による 日平均値が 0.06ppm を 超えた日数
	ppm	日	%	ppm	日
堀江小学校	0.025	0	0.0	0.049	0

出典：「平成 19 年度の大気汚染状況」（平成 20 年 6 月 大阪市）

堀江小学校局における窒素酸化物の平成 15 年度から 19 年度の年間測定結果は、表 5-2-3 に示すとおりである。

表 5-2-3 窒素酸化物測定結果（平成 15～19 年度）

単位：ppm

測定局	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
堀江小学校	0.052	0.043	0.041	0.041	0.034

出典：「大阪市環境白書 平成 16～19 年版」（平成 17～20 年 大阪市）、「大阪市資料」

b . 浮遊粒子状物質

堀江小学校局における浮遊粒子状物質濃度の年平均値の経年変化及び平成 19 年度の年間測定結果は、表 5-2-4(1)、(2)に示すとおりである。

平成 15～19 年度の年平均値は 0.031～0.034mg/m<sup>3</sup>であり、平成 19 年度の年平均値は 0.032mg/m<sup>3</sup>であった。

また、平成 19 年度の 1 時間値が 0.20mg/m<sup>3</sup>を超えた時間数は 15 時間、日平均値が 0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数は 1 日であり、環境基準の短期的評価は満足していない。

なお、日平均値の 2%除外値は 0.076mg/m<sup>3</sup>であり環境基準の長期的評価は満足している。

表 5-2-4(1) 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（平成 15～19 年度）

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定局	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
堀江小学校	0.034	0.031	0.033	0.033	0.032

出典：「大阪市環境白書 平成 19 年版」（平成 20 年 1 月 大阪市）  
「平成 19 年度の大気汚染状況」（平成 20 年 6 月 大阪市）

表 5-2-4(2) 浮遊粒子状物質測定結果（平成 19 年度）

測定局	年平均値 mg/m <sup>3</sup>	1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> を 超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日数 とその割合		日平均 値の2% 除外値 mg/m <sup>3</sup>	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> を 超えた日が 2日以上 連続した ことの有無 有×無	環境基準の 長期的評価に よる日平均値 が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 日
		時間	%	日	%			
堀江小学校	0.032	15	0.2	1	0.3	0.076		0

出典：「平成 19 年度の大気汚染状況」（平成 20 年 6 月 大阪市）

### 気象の状況

平成 19 年度における堀江小学校局における風配図は、図 5-2-2 に示すとおりである。最多風向は西北西であり、北北東の出現頻度も高くなっている。南よりの風の出現頻度は少ない。平成 19 年度の年間の平均風速は 1.5m/s であった。

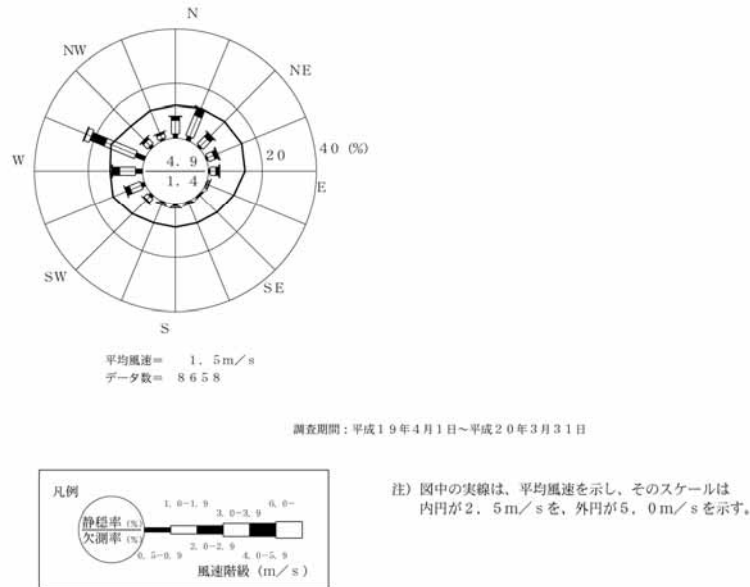


図 5-2-2 堀江小学校局における風配図 (平成 19 年度)

### 住居地等の配置の状況

事業計画地近傍における住居地、学校教育法第 1 条に規定する学校及び病院の位置を確認した結果、近傍には住居地しか存在せず、その位置は図 5-2-3 に示すとおりである。最も近い住居地は、事業計画地の南西に位置する土佐堀川沿いのマンションである。なお、事業計画地周辺の土地利用の状況としては、業務施設が主となっている。



注: この図は、既存資料及び現地踏査をもとに作成した。

図 5-2-3 事業計画地近傍の住居地の位置